

下之郷遺跡のつどい



土器づくりや古代米栽培の活動発表 弥生人の暮らしに思いをはせる

下之郷史跡公園のオープン12周年を記念して開催しました。若鮎こども園や吉身幼稚園の5歳児が愛らしいダンスで集団演技を披露。参加者は下之郷遺跡キッズクラブ「GO kids」や吉身小学校6年生による活動発表で弥生時代の暮らしに迫り、弥生織りの会による草木染めのファッションショーで弥生人になりきってイベントを楽しみました。

11月20日 | 下之郷史跡公園

理科の授業で防災を学ぶ



川やまちの成り立ちが見える実験 水の力ってすごいだね

京都大学防災研究所 教授の^{たなか 賢治}中田 賢治さんを招いて、5年生21人が、em riverという装置を使って実験をしました。

特殊な砂で山などを作り、流れる水のはたらきで崩された砂が運ばれて新しい地形を形成していく過程を調べ、新しい地形に造られたまちを水害からどうやって守るか、自由な発想で考え学びました。

11月18日 | 中洲小学校

ルシオールAKF秋色 2022



こどもはみんなアーティスト 音楽、工作、伝統文化を楽しむ

大阪交響楽団とびわ湖ホール声楽アンサンブルによるクラシック、プロと一緒に鍵盤ハーモニカ演奏、日用品を楽器にした音楽、みんなで歌って踊るコンサートなど、参加した子どもたちはいろいろなジャンルの音楽に触れました。

工作ワークショップや花道、茶道などの伝統文化こども教室も開催され、子どもたちが芸術の秋を楽しんでいました。

11月27日 | 市民ホール

野洲川斎苑の^{せんてい}剪定ボランティア



造園業8社が参加 技術生かして生け垣を美しく

一般社団法人滋賀県造園協会 南地区(守山・野洲支部)を構成する会員8社が、野洲川斎苑で今年もボランティア活動を行いました。

参加者は日頃の仕事で培った技術を生かし、剪定道具を手に斎苑敷地を囲むカナメ生け垣の剪定作業に汗を流しました。生け垣は、みるみるうちに美しく整えられていきました。

11月22日 | 野洲川斎苑



守山市の人口

令和4年11月30日現在
(前月比)

人口	85,598 (+ 8)
男	42,077 (+ 12)
女	43,521 (- 4)
世帯数	34,470 (+ 46)

のえとら」。字の持つ意味から、新しく立ち上がる、生まれたものが成長する年だったのだから。私はずいとうと、年始めにやると決めたはずの運動も読書も途中で投げ出し、振り返れば体重の増加以外に目立った成長を遂げることができなかった▼今になって後悔し、せめて何か今年のうちにと一瞬気が急いたけれど、幸い来年また、リベンジのチャンスがありそうだ。来年の干支は癸卯(みずのと)。「卯」のもつ「跳ねあがる」の意味などから、大きな飛躍や向上にふさわしい年なのだそう▼それならば来年また、心機一転頑張ることにして、年の瀬はみかんでも食べながら、こたつでゆっくり過ごしようか。2023年が、ぴよんぴよん跳ねるくらいうれしいことがいっぱい1年になることを願いながら。(ほ)



2022年がもうすぐ終わる。今年の干支は「壬寅(みず)